

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立乙畑小学校

【取組内容④】授業研究会をジャムボードを使って実施

【実践の目的】

授業研究会のグループワークで使用する模造紙の作成手間の削減とグループ間の意見の共有をしやすくする。

【使用したアプリ】

Googleジャムボード

【実践内容】

- ①係がマトリックスシートをジャムボードを使って作成する。
- ②研究会参加者はジャムボード内の付箋に書き込み、貼り付ける。
- ③グループ間で意見を共有する。

【実践を振り返って】

- ☆ICT活用が有効であった点
 - ・模造紙作成 付箋やマジックの準備などにかかる時間を削減できた。
 - ・研究会後のデータの閲覧が容易になった。

		自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成				
3年		視点①自分の思いや考えを言葉で表すための工夫		視点②課題解決に向けた学習過程の工夫		
成果	<p>教室側面・背面の掲示物が効果的だった。</p> <p>前時までの掲示物がとてもよかった</p> <p>教室掲示によってこれまでの学習が振り返れた</p>	<p>子供たちは、掲示物を手掛かりにしながら、正しい気持ちを考えていた。</p> <p>掲示物だけでなく、授業の展開がよく繋がれていた。特に、主人公の「心のクラブ」や読書の習慣を促していると感じます。</p>	<p>学習に向けた取り組み姿勢が素晴らしい。</p>	<p>気持ちのバロメーターが分かりやすかった。</p> <p>気持ちのバロメーターはよかった</p>	<p>大きな声で音読して、読み込んでいる感じがした。</p> <p>「ごめんなさい」→「よけいなことではない」とわかった。</p> <p>主人公の心情を理解しようとする考えを伝えるようになっている場面が見られた。</p>	<p>子どもたちの学びに向かう姿勢が素晴らしい。</p> <p>三人での話し合う姿勢、聞き合う姿勢が素晴らしいかった。</p> <p>子供たちなりに3人の意見をまとめていた。</p>
	課題		<p>「グループ活動」の役割と、「全体での話し合い」の役割</p>	<p>自分の考えや、思いを上手に伝えられずに遠慮している児童が見られた。</p>	<p>発表ノートの必要性</p>	